

教職生活の将来展望

【「管理職にはならず、一教師として」が過半数の50.7%を占め、最大多数である。これに「将来は教師を辞めたい」(16.7%)、「できれば管理職に」(14.4%)、「特に考えたことはない」(14.3%)が、いずれも15%程度でつづく。「今、真剣に教師を辞めたい」と答えた教員は(決して無視できる実数ではないが)1.8%と少数である。】

【「管理職にはならず、一教師として」が過半数の50.7%を占め、最大多数である。これに「将来は教師を辞めたい」(16.7%)、「できれば管理職に」(14.4%)、「特に考えたことはない」(14.3%)が、いずれも15%程度でつづく。「今、真剣に教師を辞めたい」と答えた教員は(決して無視できる実数ではないが)1.8%と少数である。】

Q10. あなたの将来展望についておたずねします。もっとも当てはまる番号に○をつけてください。

最後に、小学校教員の将来展望についてみておこう。

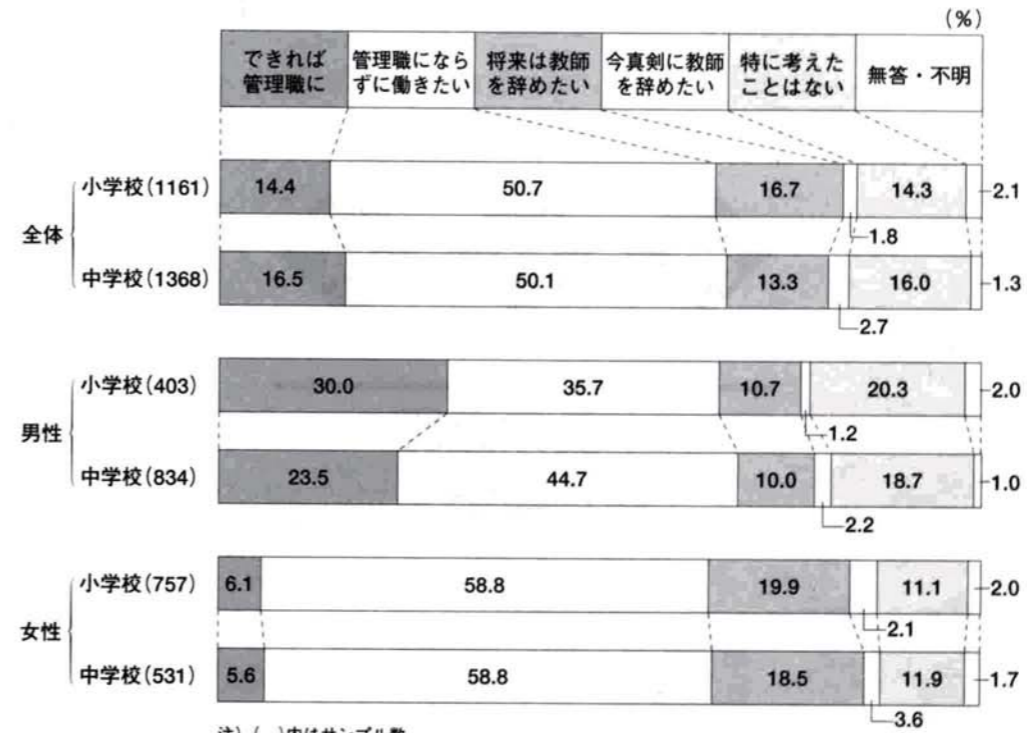
小学校教員を全体としてみると(図5-23)、「管理職にはならず、一教師として」が過半数の50.7%を占め、最大多数である。これに「将来は教師を辞めたい」(16.7%)、「できれば管理職に」(14.4%)、「特に考えたことはない」(14.3%)が、いずれも15%程度でつづく。「今、真剣に教師を辞めたい」と答えた教員は1.8%とごく少数である。ただし、日本全国の小学校教員(本務教員)42万人中の1.8%、7,500人強と考えれば、決して無視できる数字

ではない。これに「将来は教師を辞めたい」を加えると、顕在的・潜在的な退職志望群は相当規模(2割弱)に及ぶ。

性別にみると、管理職志望が男性に多く(男性30.0%、女性6.1%)、「将来は教師を辞めたい」が女性に多い(女性19.9%、男性10.7%)。「特に考えたことはない」は男性に多い。

小学校教員と中学校教員との間には、全体としてみれば驚くほど差がない。ただし、男性教員のみに着目してみると、小学校教員は管理職志望が強い点に特徴がある(小学校男性30.0%、中学校男性23.5%)。

図5-23 教職生活の将来展望(性別)



注) ()内はサンプル数。